

伝統的知にもとづいた 地域資源の維持と活用

食農環境マネジメント学コース

渡辺 理絵 准教授 WATANABE, Rie



キーワード：地域資源，自然利用，生業

専門分野： 環境地理学・人文地理学

連絡先Email：rie-wa@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

山形県には魅力的な地域資源が豊富にあります。朝日町や鶴岡市の美しい棚田、吹浦海岸のアオサ漁、多種の在来作物など、その地で数百年も守り伝えられてきた地域資源が少なくありません。ただ、それらは零細な規模であり、担い手不足などの懸念が絶えません。商業ベースにのりづらい小規模な地域資源はどのように維持され、活用を図ればいいのでしょうか。どうすれば次世代にのこせるのでしょうか。

本研究室では、伝統的な知を活かした地域資源の維持と活用の方策を探っています。

★なお本研究室では地理情報システム（GIS）の農業利用に関する研究も行っています。とくにGISを活用した分散耕地の管理手法の開発に協力いただける方を募集しています。

研究例



▲日本の棚田100選の椴平の棚田
(朝日町)

【悩み】 耕作放棄の問題が浮上していた棚田

どうすれば美しい棚田を維持できるのか？

日本の棚田100選に選ばれても地域住民の関心は高まらず・・・

【方策1】 経済的インセンティブ（動機付け）

【方策2】 外部者を介した棚田の再評価

【方策3】 住民主体のモチベーション

【効果】 耕作放棄率の減少！